

企業名： ライオン

レポート名： 統合レポート2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

ライオン株式会社（以下ライオン）はパーパス（存在意義）として「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する（Redesign）」の実践を掲げている。このパーパス達成のための経営戦略として策定された Vision2030 では環境問題や高齢化といった社会の変化に対応していくために企業の製品やサービスを活かした取り組みと実績や社会貢献と経済の両面での価値創造に関する 10 年単位での経営テーマと事業成長のためのプロセスが示されており、企業理念に基づいた会社の目指す姿が明確に伝わる報告書であると感じた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

ライオンの主要製品で売り上げの 1/4 を占めるオーラルケア用品においては歯磨きや歯ブラシでシェア No1 を獲得しているほか、新型コロナウイルスの流行によってハンドソープなどの衛生用品の需要増加による売り上げ増加を見込んでおり市場分析に基づく自社のブランド力への自信が伺え、競争優位性が十分であると読み取れた。一方でファブリック・リビングケア、薬品など市場において競争優位性が他社に劣る分野に関しても課題点と改善点が提示されており今後の成長に期待が持てる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

長年にわたりヘルスケアのリーディングカンパニーとして積み上げてきたブランド力を持ちながら消費者のニーズの変化を注視し、社会情勢に合わせた柔軟な販売戦略が練られており十分な持続性があると考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

まず、人材採用の面でダイバーシティが重要視されており、「国籍やジェンダー等を問わず多様な価値観や考えを持った人材が、個性や能力を存分に発揮して活躍することを目指しています。多くの外国籍社員やキャリア入社者（中途入社者）、障がい者等が活躍できる場を積極的に設けることで、多様な意見をくみ上げることができ、また多角的な視点や知見を獲得でき、経営の意思決定レベルが向上すると考えています。」（レポート原文より引用）とあるようにグローバルで刺激的な職場環境の中でよい経験が積めると感じた。

また人材開発に力を入れていることも読み取れ、入社後のキャリアプラン支援が充実していることやライオン・キャリアビレッジという独自の学習システムは魅力的であり、技能

面と内面の両方での価値向上が達成できる企業であると思った。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

図や表、グラフが適切に用いられておりとても見やすいレポートであった。要点がまとめられ、トピックごとに分類されており分量もちょうどよかった。一つ課題を挙げるとするならば、文字の大きさや、フォントが全体を通じて統一されていたため重要なポイントがややわかりにくかったように感じたのでより大胆な強調効果を加えると一般の人にもより伝わりやすいものになると感じた。